

# 令和4年度 観光入込み数 増減要因

## 1 令和4年度の観光入込み数について

令和4年度の観光入込み数は 2,201,935 人で、517,862 人の増（前年比 130.8%）となった。

【内訳】〔宿泊者数〕 111,600 人 44,592 人の増（前年比 166.5%）  
〔日帰り客数〕 2,090,335 人 473,270 人の増（前年比 129.3%）

## 2 増減要因の総括について

新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、町内外からの観光客も回復傾向にあり、全体通して入込客数増加推移となった。昨年は緊急事態宣言やまん延防止措置が発令され、各所で外出を避ける呼びかけがあったものの、令和4年度はイベントの復活や各所施設にて通常営業の再開、アフターコロナにおける誘客施策を行ったことが入込客増加要因と捉える。また、徐々にではあるがインバウンド観光客の回復や、団体旅行・修学旅行の回復が見え町内各地で団体バス利用者の姿がうかがえ、新型コロナウイルス感染症が5類感染症移行に伴い、町内にも更なる観光客が見込まれる。

一方、白老地区の「スポーツ・レクリエーション」における入込数は前年比 87.7%となり、来訪者が各屋内施設へ分散したことから減少となった。

本年度は、令和2年度・令和3年度に開業した飲食店や文化施設、旅館等施設のフル稼働、アフターコロナ誘客施策により、平成20年度以来14年ぶり200万人を超える観光入込総数となり、本年度の入込実績は歴代で第5位の結果となった。

（参考：平成元年度 入込総数 2,265,423 人 歴代4位）

（参考：昭和43年度から入込調査開始）

## 3 地区別の主な増減要因

### 虎杖浜温泉地区（竹浦・虎杖浜地区）

虎杖浜温泉地区の全体の観光入込み数は 740,308 人で、118,521 人の増（前年比 119.1%）となった。

#### 【虎杖浜温泉地区の増加要因】

- 「宿泊（ホテル・旅館・民泊）」 68,895 人 14,719 人の増（前年比 127.1%）  
宿泊施設の通年での通常営業や、宿泊助成施策（ウェルカムしらいキャンペン）実施により利用者増加したため。
- 「飲食店・みやげ」 369,810 人 78,995 人の増（前年比 127.1%）  
新型コロナウイルス感染症も落ち着き、観光客数が増加したため。
- 「自然景観」 128,623 人 12,853 人の増（前年比 111.1%）  
新型コロナウイルス感染症も落ち着き、倶多楽湖等の利用客数が増加したため。
- 「スポーツ・レクリエーション」 37,914 人 6,766 人の増（前年比 121.7%）  
新型コロナウイルス感染症も落ち着き、屋外で感染対策を行い楽しむことができるパークゴルフ場等利用者が増加したため。

## 白老地区（社台～北吉原地区）

白老地区の全体の観光入込み数は 1,461,627 人で、399,341 人の増（前年比 137.6%）となった。

### 【白老地区の増加要因】

- 「宿泊（ホテル・旅館・民泊）」 42,705 人 29,873 人の増（前年比 332.8%）  
旅館の開業による利用客増加や民泊・民宿の需要が高まったため。
- 「飲食店・みやげ」 924,121 人 150,601 人の増（前年比 119.4%）  
新型コロナウイルス感染症も落ち着き、観光客数が増加したため。また、メディアにて積極的な取り上げを行ったことから各施設における知名度が向上したことが要因。
- 「文化・歴史」 378,144 人 182,218 人の増（前年比 193.0%）  
新型コロナウイルス感染症も落ち着き、各施設が通常営業になったことや、積極的な誘客活動により来訪者増加したため。
- 「体験・ツーリズム」 7,353 人 2,284 人の増（前年比 145.0%）  
修学旅行や団体客の受け入れも徐々に回復傾向にあるほか、ガイド団体による一般客の町内受入を積極的に行ったため増加。
- 「まつり・イベント」 32,642 人 31,580 人の増（前年比 3,073.6%）  
新型コロナウイルス感染症も落ち着き各所でイベントが再開され、来訪者増加したため。

### 【白老地区の減少要因】

- 「自然景観」 9,776 人 670 人の減（前年比 93.5%）  
ヒグマ出没情報が多発したことにより、利用客減少となった。
- 「スポーツ・レクリエーション」 52,560 人 7,349 人の減（前年比 87.7%）  
全国的に人気のあるキャンプやアウトドア需要が昨年大幅に高まったものの、今年度は新型コロナウイルス感染症も落ち着き各所施設へ来訪者分散となったことや、ワカサギ釣りシーズンスタートの遅延等が減少要因。

## 4 訪日外国人観光客の増減要因

「宿泊客数」 2,128 人 2,123 人の増（前年比 42,560.0%）  
「日帰り客数」 13,110 人 12,889 人の増（前年比 5,932.8%）

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、国際的な人の往来が制限されていたものの、今年度は徐々にインバウンド回復傾向にあり、ウポポイを中心に外国人観光客増加推移となった。また、各施設において SNS を用いた海外向け情報発信によりインバウンド需要が高まったと捉える。新千歳空港との直行便が再開されることで今後更なるインバウンドが見込まれる。

## 5 過去5年間の入込客数の推移

平成30年度	1,505,404人	(▲230,166人)	前年比	86.7%
令和元年度	1,596,871人	(+91,467人)	前年比	106.1%
令和2年度	1,773,948人	(+177,077人)	前年比	111.1%
令和3年度	1,684,073人	(▲89,875人)	前年比	94.9%
令和4年度	2,201,935人	(+517,862人)	前年比	130.8%